

鶴甲会館リニューアル通信

◇ 鶴甲会館 再整備 ◇

鶴甲会館の整備について、説明会を開催しました。

鶴甲会館再整備の方針案に対する住民意見及び市の考え方を説明しました。

神戸市みなと総局では、鶴甲会館の再整備に関して、7月に発行しました「鶴甲会館リニューアル通信第7号」にて、従来の、小学校横の県警宿舎敷地を建替え先とする方針案を見直し、鶴甲公園内の会館整備を検討する旨をお知らせしました。この方針案に対して、住民のみなさまから様々なご意見をいただきしております。

みなと総局では7月23日と9月9日に住民説明会を開催し、このたびの方針案に対する住民意見の概要及び鶴甲会館再整備、鶴甲公園リニューアルについての考え方を説明しました。



みなと総局では、平成26年以降、鶴甲会館の再整備に関して、連合自治会と協議を進めるとともに、住民説明会やワークショップを開催し、多くの方々から様々なご意見を伺ってまいりました。その結果、現施設を改修するのではなく、新しい会館を団地内で建替えることを骨子とする整備方針案を平成28年3月に策定し、住民のみなさまから一定のご理解を得ております。

ただし、建替場所については、他の場所での要望があったことから関係先と協議を進めるなど、従来の候補地以外での適地を検討しており、現在は、鶴甲公園内の整備が望ましいと考えており、今後、住民のみなさんのご意見を参考に進めていきたいと考えています。



お問合せ先（事務局）

神戸市みなと総局 経営企画部 分譲推進課 管理係【鶴甲会館担当】

住所：〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

TEL：078-322-5711 FAX：078-322-6135



【ご意見シートの回答状況】

- 対象世帯 鶴甲2～5丁目 約2,200世帯 + 利用者など
○募集期間 平成29年7月6日～31日
○回答状況 回答数 228件 うち 公園内建設反対 203件
(回収率約10%) // 賛成 22件
その他 3件

〔公園内建設に対する主な反対意見〕

- 現在の公園に満足している。
- 現状維持以外受け入れない。
- 50年の歴史ある現状のままでお願いします。
- 今より狭い公園はやめて。
- 地域行事で使う場合、現状でも狭い。
- 公園のリニューアルは必要ない。
- 子供たちが目いっぱい走り回っているのに、何故ここに会館が必要なのか。
- 公園内に死角を作ることに断固反対。
(見守り機能はすでにある)
- 会館ができることで車の利用が増え、違法駐車が増加、事故の発生が心配される。

〔公園内建設に対する主な賛成意見〕

- 公園は団地の中心部で、住民がアクセスしやすい。
- 公園内に児童館も一緒に移転してほしい。
- 親の目が行き届くし、会館で少しくらい狭くなっても、公園は十分広いと思う。
- 高齢化が進んでいるので、公園に会館ができれば行きやすく、トイレもできて助かる。
- 公園に会館利用者も出入りし、子供とのふれあいも増えるので賛成。
- 公園内に会館ができれば、今まで以上に見守りの目があり安心である。

〔会館等に関する意見〕

- 会館の移転先は県警宿舎敷地にするべき。
- 現会館を耐震改修、または建替えればよい。
- コープの上階の元寮を利用する方がコープ鶴甲存続のためにも現実的だと思う。

〔ご意見シート以外での意見〕

- 公園内に建てられる会館のイメージがわかりにくい。今の会館のような規模と思われているのではないか。
- 鶴甲会館内に児童館が設置されるのなら価値が高まる。
- 反対意見が多いらしいが、賛成の人もたくさんいると思う。





【神戸市の鶴甲会館の再整備に係る基本的な考え方】

鶴甲団地の活性化を目指して

神戸市では、人口減少や高齢化、施設の老朽化などのオールドタウン化が進む、市内の計画的開発団地のリノベーションに取り組んでいます。

鶴甲団地においても、会館の再整備や鶴甲公園をリニューアルすることで、子供から高齢者まで多世代の地域住民が交流する新たなコミュニティの場をつくり、地域コミュニティの強化や子育て環境の充実等を実現し、少子高齢化が進む鶴甲団地の活性化につなげていきたいと考えています。

鶴甲会館の再整備

地域のコミュニティ施設として、地域住民の交流の促進及び文化と教養の向上に資するものであり、再整備により地域のコミュニティの拠点とします。

＝会館の機能＝

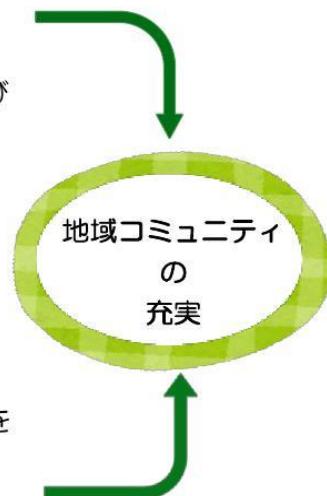
- 住民集会 ○文化教室 ○サークル活動 など

鶴甲公園のリニューアル

地域の多様なニーズに対応する公園としてリニューアルし、より多くの人がより多くの目的で使い、交流し、地域の魅力を高める生活文化施設として公園を利活用します。

＝公園の機能＝

- レクリエーション ○文化活動 ○コミュニティ活動 ○防災



立地場所の検討 * 公園内での会館整備の利点（○）と課題（●）

みなと総局では立地場所の検討において、下記のようなそれぞれの立地場所に係る利点等を比較検討し、鶴甲公園での整備が望ましいと考えています。

立地場所	鶴甲公園	県警宿舎
通いやすさ	○	○
他団体との連携	○	○
住民の交流	○	○
駐車スペース	△	○

- 団地中心部に近く、利便性が高い
- 市民トイレとして活用できる
- 子供の見守りの強化
- 公園利用者の休憩場所
- 公園の付加価値向上（コミュニティの強化）
(公園内イベント時等の活用度向上)
- 駐車場の確保





これまでの検討経緯

みなと総局では鶴甲会館の再整備に関して平成26年4月より連合自治会と協議を始め、下記のとおり住民説明会やワークショップを行い、住民意見の集約に努め、そこで得られた意見を総合的に勘案し整備方針案を策定しました。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ○平成26年4月～ | 連合自治会と協議開始 |
| ○平成26年12月～27年5月 | 住民説明会（計3回） |
| ○平成27年7月～9月 | ワークショップ（計5回）、住民アンケート |
| ○平成27年12月～ | 鶴甲団地コミュニティ活性化検討会（5回） |
| ○平成28年3月（整備方針案策定） | 整備方針案住民説明会（計2回） |
| ○平成28年5月～11月 | コープこうべとの協議 |



コープ鶴甲店の活用について

「コープ鶴甲店」の上階の女子寮跡を会館として整備してはどうかという提案があります。確かにコープ鶴甲店は鶴甲団地の中心部にあり利便性に優れており、コープこうべを交えて数度の協議を行いましたが、「会館」への用途変更に伴う、構造の改造（床・天井等）及び設備の全面的な設置・改修（エレベーター等）など、多くの課題があり、そのための整備費用は建替え以上に要するとともに、整備した施設が長期間運営できない（いずれ建替えが必要になる）ことから、当施設を無理に会館として整備することは難しいとの結論に至りました。

そこで、コープ鶴甲店を活用するためには、現施設を改修するのではなく、建替えにより店舗及び会館の合築施設として整備すべきものと考えコープこうべに検討を依頼しましたが、コープこうべは「数年前に耐震補強等を行っており建替えは考えられない」との回答があり、コープこうべとの協議は不調に終わりました。

住民のみなさまのあいだで、「再度、コープこうべとの協議をしてほしい」との声がありますが、昨年と同様の協議を繰り返すことは難しいと考えています。



9月9日 住民説明会での主な質疑

〔主な質問〕

現会館の改修の可能性はないのか？

コープ鶴甲店と会館の合築を考えるべきで、コープと再協議してほしい。

具体的な会館のイメージがないので賛否が決められない。

児童館の会館内移転も含めて進めてほしい。

建替え後の会館の運営が赤字となった場合は地元の負担になるのか。

〔みなと総局の考え方〕

ワークショップ等で住民のみなさんの意見をとりまとめ、団地内の建替えとなりました。

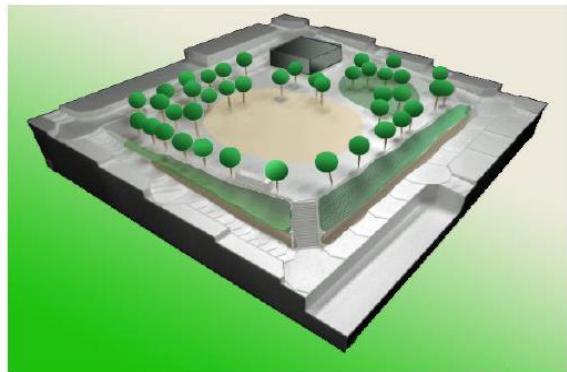
コープこうべとの協議の結果、合築（改修・建替え）は難しいという結論になりました。これ以上の協議は難しいと考えています。（前頁参照）

具体的な施設計画は整備方針決定後、ワークショップなどで決めていきます。

児童館の移転問題は承知しており、こども家庭局の判断によります。

施設運営上の赤字の地元負担はありません。赤字とならない仕組みを、地域のみなさまと一緒に考えていきます。

鶴甲公園内での会館立地イメージ



公園全体の面積(6700 m²)に占める会館の割合は約5%であり、植え込み部分を活用し、できるだけ公園機能に影響を与えないよう工夫します。（※場所はまだ決まっていません）



連合自治会による住民意見交換会

鶴甲会館を鶴甲公園内に整備することについて、連合自治会では地域の活性化を目的とする市の方針に賛同されているところですが、一方で住民のみなさんからは様々な意見が出ているところです。

連合自治会では、そういった地域住民の様々な意見を聞き、今後の鶴甲会館等地域の課題に取組もうとされており、下記の日程で意見交換会を開催されます。

ご意見のある方はぜひご参加ください。(自治会員以外の方も参加できます。)

日時：平成 29 年 11 月 26 日(日) 10:00～

場所：鶴甲会館 301 号室



みなと総局では、この住民意見交換会でのご意見も参考に立地場所の検討を進めていきます。

「鶴甲まち開き 50 周年プロジェクト」について

鶴甲団地は平成 30 年度にまち開き 50 周年を迎えます。現在、連合自治会をはじめふれあいのまちづくり協議会など地域団体の方々が、50 周年を契機として、地域コミュニティをさらに活性化させ、鶴甲団地がこれまで以上に安全・安心な魅力溢れるまちになることを目指して、記念事業などの実施について検討を進めています。

神戸市でも、できる限り支援していきたいと考えています。

＜記念事業 一部紹介＞

●鶴甲桜並木復活・再生プロジェクト

鶴甲小学校北側の斜面地、鶴甲 2 丁目信号から神戸大学発達科学部正門方向への法面には桜の木々が植えられています。年毎に衰退が進んでいる桜並木を、元気なサクラストリートとして復活・再生させるプロジェクトです。

東西 450m の桜並木道のうち東側 150m を桜が育つ環境に整備し、新しい桜の植樹も行います。

●記念ロゴマーク募集

50 周年記念事業・行事の情報発信に活用するロゴマークを、住民のみなさま、鶴甲と関わりのあるみなさまから公募し、決定いたします。